

## LifeKeeper for Linux/Windows

## Protection Suite for Linux/Windows

# ビジネスの基盤となるITシステムを障害や災害から守る、HA(ハイアベイラビリティ)クラスターソフトウェア

システム障害や自然災害により業務やサービスが停止してしまうと、その影響は企業内だけにとどまらず、顧客、取引先、関連企業にまで波及します。事業・サービスの継続性を確保し、システムの可用性を高めるのが、HAクラスターソフトウェア「LifeKeeper」です。システム障害を監視し、稼働系に障害が生じた場合に待機系へ速やかに自動的切り替えを行うことで、システムダウンタイムの時間を短縮し、ビジネス損失を最小限に留めます。

### こんなケースに

- システム障害や自然災害が発生した場合でもサービスを継続したい
- システムの計画外停止時のダウンタイムを極力短くしたい
- クラウドや仮想環境下で高可用性システムを構築したい

### 特長

#### 多数の導入実績

グローバルで 35,000ライセンス 以上、日本国内で 12,000ライセンス 以上のお客様にご導入していただいております。

#### 簡単導入、スムーズな運用管理

対話的なウィザード形式による簡単インストール。またオプション製品によりスクリプトレスでHA化することができます。またGUI画面による直感的な操作で、導入後の運用管理もスムーズです。

#### 多様なシステムへ対応

仮想環境、クラウド環境を含め、多様な環境に対応しています。既存環境を生かしたままシステムの可用性を高めることができます。

### 導入事例社名

- ▶セイコーエプソン株式会社
- ▶ソネット株式会社
- ▶株式会社インターネットイニシアティブ
- ▶株式会社カカコム
- ▶株式会社日立ソリューションズ 他

## HAクラスターソフトウェアとは？

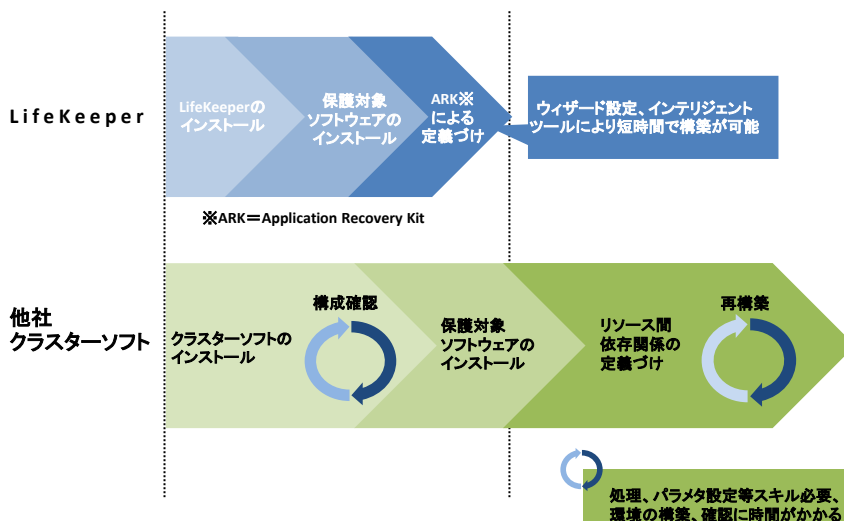
予備機を準備し、稼働機に障害が生じた場合に自動的に切り替えを行うことで、復旧時間の短縮と運用リソースの削減を可能にするソフトウェアです。サーバー同士が一定間隔で監視を行う仕組みをソフトウェア上で行い、反応が無くなればシステムダウンとみなし予備機への切り替えを行います。

- ビジネスの継続性を実現
- 待機系サーバーへのサービス引き継ぎにより、ダウンタイムコストを大幅削減

## LifeKeeperの優位点

- LifeKeeperのオプション製品「ARK」(Application Recovery Kit)を使用すれば、スクリプトを作成することなく、簡単に、短時間でHAシステムを構築することが可能(対応ソフトウェアは別紙参照)
- OSのバージョンアップ以外では、サービス停止を伴う作業は必要なく、サービスを停止せずにLifeKeeperの動作環境を変更することが可能
- すべての設定・操作がGUIで可能なため、運用コストを大幅削減

他社製品と比較して約1/2～1/3程度の時間で構築可能



処理、パラメタ設定等スキル必要、環境の構築、確認に時間がかかる

# LifeKeeper for Linux/Windows

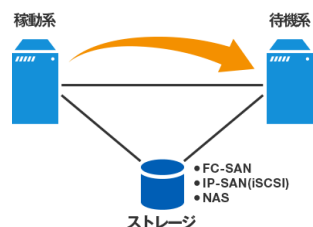
## Protection Suite for Linux/Windows

クラウド、仮想環境を含め、多様な環境に対応。  
既存環境を生かしたまま  
システムの可用性を高めます。

SAN/SCSIの共有ディスク、同期・非同期モードのデータレプリケーションなど、様々な環境に対応。1対1だけではなく、N対1、N対Mでの構成も可能です。また、仮想環境へも完全対応。「ゲストOS上のアプリケーションやサービスの不具合の可能性」「システム構造の複雑化、仮想マシン層の障害発生の可能性」など仮想化により生じるリスクを解決し、ビジネス・サービスの継続性を高めることができます。

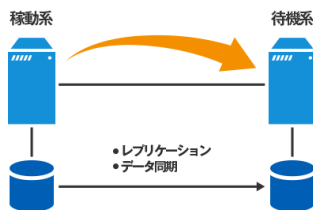
### システム構成

#### ■共有ディスク構成



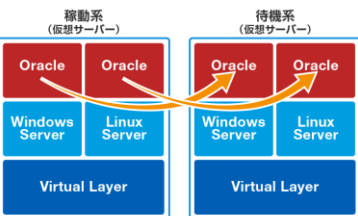
外部ストレージを共有ディスクとして用いる一般的なHAクラスターシステム構成です。ストレージおよびマルチパス構成を含めたクラスターシステムの試験を実施しており、より信頼性の高いフェイルオーバーを実現します。

#### ■データレプリケーション構成

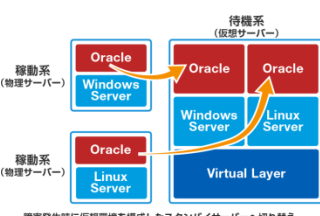


高価な外部ストレージを必要とせず安価にクラスターシステムを構成可能です。サーバー毎に接続されたローカルディスクをレプリケーションすることで、ミラーボリュームを作成し、共有ディスクとして扱います。これにより物理的な制約がなくなるため、遠隔地へのフェイルオーバーも可能となります。

#### ■仮想環境

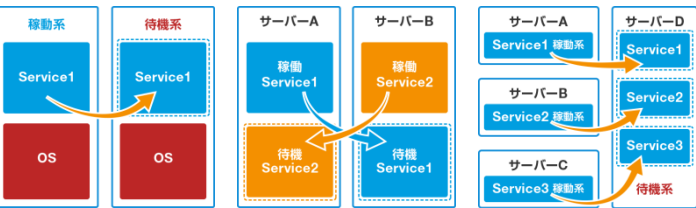


仮想 TO 仮想  
仮想環境内で仮想マシンの高可用性を実現します。



物理 TO 仮想  
既存システムをベースとしたHAクラスターシステムの構築、また段階的な仮想環境への移行のプロセスでも利用可能です。

#### ■サービスの引き継ぎパターン



#### スタンバイ方式

稼働系が稼働できなくなった際、待機系サーバーにてサービス引き継ぎ実行します。

#### 相互スタンバイ方式

2台のサーバーでそれぞれ違うサービスを実行。通常、消費しない待機系の利用率を上げるため、Active/Active(相互Standby)の構成を組むことができます。

#### N対1スタンバイ方式

N台のサーバーでそれぞれサービスを実行。障害が起きた際待機系のサーバーによるサービス引き継ぎを実行します。ActiveActive(相互Standby)とNx1を組み合わせたNxMも構成可能です。

### LifeKeeper/ Protection Suite for Linux v9.1の新機能

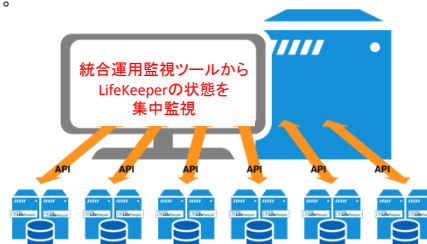
#### ■Quick Service Protection

専用のARKが用意されていない場合でも、LifeKeeper for Linux v9.1からは、新機能"Quick Service Protection"を利用することにより、GUI上での簡単な設定のみでLinux上の一般的なサービスをLifeKeeperの保護対象とすることが可能となりました。(専用ARKが用意されているアプリケーションは対象外となります。)



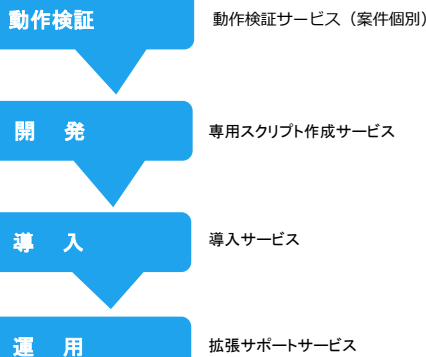
#### ■LifeKeeper APIs

"LifeKeeper API for Monitoring"は、外部システムからLifeKeeperの状態を参照することが可能なAPIです。各種統合運用管理ツールからこのAPIを呼び出すことにより、それらのツールの画面上でLifeKeeperを含めたシステム全体の一元的なモニタリングが可能となり、特にクラウド環境や大規模システムにおける運用性の向上に貢献します。



### プロフェッショナルサービス

お客様にとって最適なシステムを実現できるよう、製品ご購入前のお客様、また製品をご購入後のお客様へLifeKeeper / DataKeeperのプロフェッショナルサービスをご提供します。システムの基本構想から設計・開発、導入、運用に至るまで、専任のエンジニアによる様々な支援をご用意しています。動作実績のない環境への導入の場合は、案件個別の動作検証サービスとして承ります。



詳細情報はこちら▶ <http://sios.jp/products/lkdk/>

LifeKeeper®は、SIOS Technology Corp.の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。記載の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。製品の仕様、価格などは予告なしに変更されることがあります。販売会社から買い上げの場合、販売会社の保守サービスが適用となる場合があります。



サイオステクノロジー株式会社  
〒108-0072 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階  
Tel.03-6859-8686 Fax.03-6859-8687  
www.sios.com